

様式1 (学校法人用)

令和 3年 5月 6日

「学校関係者評価」の実施状況報告書

(宛先)

埼玉県知事 大野 元裕 様

主たる事務所

所在地 埼玉県入間郡越生町越生 950

学校法人名 信愛学園

理事長名 武内政文 印

電話番号 049-292-2106

幼稚園の学校関係者評価の実施状況については、下記のとおりです。

記

1. 実施済み

幼稚園名
越生みどり幼稚園
幼稚園
幼稚園
幼稚園
幼稚園
幼稚園

2. 実施なし

(理由 複数回答可)

- 1 実施方法がわからない
- 2 実施する時間的余裕がない
- 3 法令上の義務または努力義務であることを知らなかった
- 4 現時点で評価を実施するメリットや必要性を感じない
- 5 その他 ()

学校評価シート（自己評価）令和 2 年（2020 年度）

越生みどり幼稚園

1、園の教育目標

【幼稚園教育目標】「げんきでなかよく」

○ げんきな子 《幼稚園を楽しむ》

*幼稚園を楽しむ(すみれ) 楽しんで遊ぶ(ゆり) 楽しんでいっしょに遊ぶ(きく)

・進んで遊びや運動を楽しむ ・自分の力で行動する・最後までやりとげる

・健康や安全に気をつけて行動する

○ なかよくする子 《気付く子》

*お友だちに気づく(すみれ) お友だちに気づいて気持ちを伝える(ゆり)

お友だちの気持ちを受け止める(きく)

・友達といっしょに遊ぶ・相手を思いやる・決まりや約束を守る・お話を聞く

・動植物に親しみをもって大切にする

2、具体的な目標や計画

- ・ 子どもたちの生き生きとした活動を援助するため、チーム保育を実践し、保育者も園児も、共に生き生きと生きる幼稚園を目指す。
- ・ 日常的に園の周りの環境を生かした山保育を行い、体幹を鍛え、心も体も健康に育てる。

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
施設型給付への移行に伴う事務作業	A	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度より、新制度の施設型給付の幼稚園へ移行した。それに伴い、現行の事務に加えて越生町とのやり取りが増えた。コロナ補助金については主任に仕事を分担し、事務作業を割り振った。 ・他市町村の園児もいるため、対応が大変だった。
園舎の安全対策	B	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の園舎を十分に活用し、手入れやリフォームを行いつつ、丁寧な掃除を行い、園児が安全に、清潔に生活できるように心掛けた。 ・木造の園舎の木枠の窓については、老朽化が進んでおり、風が吹いても大きな音が鳴るため、園児の安全のため交換した。 また、大きな窓のガラスについても、園児がぶつかった際のことを考慮し、割れないものと交換した。 ・園に侵入者があった際の防犯対策として、各クラスに内錠をつけた。また、侵入者の避難訓練を行った。

インクルーシブ保育の実践	C	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度は、ワンダーハウスにすでに通っている2名の年中児を週に2回受入れた。対応教諭とチーム保育の中で、必要な場面で十分に対応できるように協力し、努力したが、実際の保育では対応が困難なところもあった。そのたびごとに全教諭と話し合い、最善の対応を模索してきた。 ・保護者と連携しながら、園生活を十分に楽しめる環境とはどういうことなのか今後も考えていく。
2歳児から3歳児への切れ目のない対応(幼稚園接続保育)を推進する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・国が推奨する幼稚園接続保育をうけとめ2歳児保育(ブレ幼稚園うさぎ組)を行い、2歳児から3歳児への切れ目のない対応を行っている。 ・保護者の子育てへの負担を軽減するため、2歳児の預かり保育を実現したいと思っていたが、コロナのため、クラスの開始も9月からとなり、実現ができなかった。

4, 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設型給付の幼稚園に移行し、初めての年度で、提出書類や報告等、一つひとつを学んだ一年であった。新しい事務の仕事や、コロナウイルスの対策に追われたが、その中で、職員配置を丁寧にし、できることをしっかり行ってきた。 ・園児の安全と健康を守り、園生活がスムーズに行われるように心を砕いた。 また、未曾有の事態に恐れることなく、感染防止を行い園の運営をたゆまず行った。 ・長い間続けていたひよこ(子育てパーティー)と園庭開放は、感染予防の観点から1学期と3学期はおやすみ、2学期のみ行った。幼稚園に慣れ、園児と触れ合う良い機会であったので残念だった。 ・2名の重い発達障害の子を受け入れ、保護者とも何回も面談を繰り返し、チーム保育で協力し合い頑張った一年であったが、幼稚園でできることの限界も感じた。 ・今年度は難しい情勢の中、教職員が協力し合って保育を行ってきた。また、幼稚園においていただけない保護者のためには、マチコミのタイムラインや、各クラスの担任による毎月のポートフォリオ(まなびのものがたり)での園児の様子を伝えることができた。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
2歳児から3歳児への切れ目のない対応(幼稚園接続保育)を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度できなかった、2歳児の一時預かり事業を行いたい。 ・実際に行うことについては町と相談が必要であるが、幼稚園独自のやり方を模索したい。 ・対象は2歳からの幼稚園児の下の子及びひよこ、うさぎ参加者 ・このことにより下の子を預けたい保護者が困らないようにしていく。
園の環境を整えるために、ICT化を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までは指導要録に特化したICT を使っていたが、事務作業や、先生方の仕事を軽減するために、機能性の高いICT を導入する。 ・それによって教職員の作業の効率化を図る。 ・職員間の連絡や、共有のためにタブレットを購入したい。
創立 70 周年のための準備を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・町に一つの幼稚園として、70 周年を記念するために早くから準備を行っていく。 ・50 周年の際に作成した記念誌が、今も大量に倉庫に残っているため、新しい形の記念誌として、幼稚園の絵本を作り、お配りしたい。今年度は創立 68 年となり、そのためには数年前からの準備が必要であるため、早めに計画していきたい。

学校評価シート（学校関係者評価）

幼稚園 学校関係者評価委員会

日時 令和3年4月26日(月)

13:00~14:00(時間)

出席者 評価委員(2)人

評価委員(2)人

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

- ・適切である。
- ・園の置かれた環境や、状況を客観的に分析して設定されていると思う。
- ・コロナ下において、外遊びがままならない子どもが多い中、山保育を中心に心身ともに健康で過ごしている素晴らしい。

2. 評価結果の内容は適切であったか

- ・適切である
- ・先生方の日々の努力が、子どもたちの安全で安心できる環境を作っていると感じた。
- ・インクルーシブ保育については大変難しい問題であり、C評価は仕方ないのではないかと思った。
- ・コロナ下の困難な中での取り組みで、達成がBであると自己評価しておられる姿勢が、冷静であり、適切と思う。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

- ・適切であり、前向きである。
- ・将来を見据えて課題を設定している。
- ・多様化している社会に対応していくことは大変なことであるが、努力している様子が感じられる
- ・2歳児の一時預かりをぜひ実現してほしい。
- ・タブレットの導入は、今必須であると思う。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

- ・適切である。
- ・限られた資金の中で、どこに力を入れ、どこを削るべきかをよく考えて進まれることを期待している。
- ・スタッフの方々が若く、意欲的に行動されているので希望が持てる。
- ・ICT化については、早急に進める必要があると思う。